訃　報

名誉会員　**安川第五郎　氏**

略　歴

明治19年6月2日生
明治45年7月　東京帝国大学工科電気工学科卒業
大正元年8月　久原鉱業㈱入社
〃　4年7月　安川電機製作所創立，大正8年常務取締役，昭和11年社長，同24年会長，同30年相談役，同33年会長，同47年相談役
昭和21年2月　石炭庁長官
〃　29年8月　九州電力㈱相談役，同35年会長，同41年相談役
〃　26年9月　㈱電気ビル会長
〃　26年12月　(社)日本動力協会会長
〃　27年4月　(社)九州経済調査協会会長
〃　29年3月　九州鋼弦コンクリート㈱会長，同30年相談役
〃　30年5月　日本銀行政策委員
〃　31年6月　日本原子力研究所理事長，同32年顧問
〃　32年7月　原子力委員会参与
〃　32年11月　日本原子力発電㈱社長，同37年会長，同45年相談役
〃　35年4月　産業合理化審議会委員
〃　36年4月　(社)九州・山口経済連合会会長，同48年名誉会長
〃　36年10月　国語審議会委員
〃　**37年5月　日本オペレーションズ・リサーチ学会会長，同40年名誉会員**
〃　38年2月　オリンピック東京大会組織委員会会長
〃　38年12月　九州地方開発審議会委員
〃　39年1月　(社)日本工業倶楽部専務理事
〃　41年1月　IEEE・Fellow
〃　41年10月　(社)科学技術と経済の会会長
〃　44年7月　(社)日本産業技術振興協会会長
〃　46年1月　(財)未来工学研究所理事長
〃　46年3月　(社)日本原子力産業会議会長

賞　罰

昭和15年11月10日　緑綬褒章
〃　35年5月3日　藍綬褒章
〃　36年8月8日　功労十字章(西ドイツ)
〃　39年11月3日　勲二等旭日重光章
〃　39年12月31日　ジョージ一世勲章(ギリシャ)
〃　45年11月3日　勲一等旭日大綬章

安川第五郎元会長を偲んで

安川元会長は満90歳のお誕生日を迎えられて旬日，去る6月25日天寿をまっとうして永久の眠りにつかれました．あの温かいご尊顔・お人柄をおもい浮べつつご冥福をお祈り申し上げるしだいです．

昭和37年3月当時の会長岸さん急逝のあと，第5代会長ご就任を懇請，快よくお引き受け願い，昭和37年5月から昭和40年5月まで，当学会を統率していただきました．当学会発足5年目からの3年間，この間に学会の基礎づくりができたといっても過言ではないと思います．

当時安川会長は，日本原子力発電株式会社の社長としてわが国原子力発電の最先端に立ってのご活躍中で，また東京オリンピック組織委員会の会長もお引き受けになり，きわめてご多忙の間をさき，学会の会合には率先ご出席ご指導くださり感激のいたりでした．

会長就任のご挨拶に，OR学会創立と同時に入会されたこと，会長就任を引き受けてさっそく丸善でORの参考書をお求めになったことなど述べられ，喜寿を迎えられた大先輩の謙虚なお言葉に私たちは心を打たれました．

東京オリンピックの前年昭和38年秋季研究発表会の折，会長のご好意で“オリンピックとOR”なる特別のパネルが催されたことも特筆すべきことと思います．

東京オリンピックの来場者の予測，入場券の料金の設定についてORを活用されたことも，安川会長の控え目なご自慢の1つで，東京オリンピックを大成功裡に了え開会式の日本晴れを含めて“至誠天に通ず”の信念を吐露される安川会長の温顔は忘れることができません．

安川前会長のご指導の精神は当学会に脈絡として流れています．私たちは先賢のすぐれた教えを引き継いで学会発展の糧として努力することが，なによりのご恩返しと信じております．

(藤森謙一：フェロー，元副会長)

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．